

## 第三セクターの経営情報について[北九州野球株式会社]

### 1 会社概要

#### (1) 事業内容

- ① プロ野球公式戦等の興行
- ② 北九州市民球場の広告、宣伝に関する業務
- ③ 北九州市民球場内の食料品等の販売に関する業務
- ④ 北九州市民球場等（北九州市民球場、三萩野球場）の指定管理業務

#### (2) 会社設立及び本市の出資額・割合

会社設立 昭和63年11月16日

資本金 50,000千円（本市出資金2,000千円 出資率4.0%）

### 2 事業報告要旨等

| 第 3 5 期 | 令和4年4月1日から令和5年3月31日  |
|---------|--|
| 事業報告要旨  | <p>令和4年度は、引続きコロナ禍であったが前年を上回る球場利用があった。</p> <p>主な利用実績では、高校野球101試合、大学野球13試合、社会人野球25試合等が行われた。</p> <p>プロ野球では、日本プロ野球（NPB）福岡ソフトバンクホークス主催の公式戦2試合が、観客の入場制限を設けない中で行われ、合計35,434人の観客数となった。</p> <p>また、独立リーグのプロ野球チーム「福岡北九州フェニックス（現北九州下関フェニックス）」の試合が5試合、日本女子ソフトボールのトップリーグ「JDリーグ」の試合が、10試合開催された。</p> <p>いずれも、開催にあたり、県・市のガイドラインを遵守し、主催者の自主ガイドラインに則った感染症対策を実施した。</p> <p>自主事業では、福岡ソフトバンクホークスの協力による「北九州ベースボールクリニック」や「ホークス野球塾」を開催し、北九州市の野球の振興・技術の向上及び野球を通じた青少年の健全育成に努めるとともに、施設面では屋外トイレブースや旧ブルペン屋根の改修等を行い、施設の安全性・快適性の向上を図った。</p> <p>令和5年度は、日本プロ野球公式戦（2試合）や、北九州下関フェニックス（12試合）及び日本女子ソフトボール「JDリーグ」（12試合）等の試合開催が予定されている。</p> |

|            |                           |   |                                 |                               |                               |                               |
|------------|---------------------------|---|---------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 収支の<br>状 況 | 当期純利益                     | 5,958 千円  |                                 |                               |                               |                               |
|            | 直近三事業年度の<br>収入及び<br>損益の状況 |   | 第32期                            | 第33期                          | 第34期                          | 第35期                          |
|            |                           |   | R1.11.1~<br>R2.10.31<br>(12ヶ月間) | R2.11.1~<br>R3.3.31<br>(5ヶ月間) | R3.4.1~<br>R4.3.31<br>(12ヶ月間) | R4.4.1~<br>R5.3.31<br>(12ヶ月間) |
|            |                           | 売上高   | 93,059 千円                       | 40,293 千円                     | 115,652 千円                    | 131,914 千円                    |
|            |                           | 経常利益  | 12,531 千円                       | 3,973 千円                      | 6,175 千円                      | 8,190 千円                      |
|            | 当期<br>純利益                 | 8,881 千円  | 2,288 千円                        | 4,503 千円                      | 5,958 千円                      |                               |
| 繰越利益剰余金    |                           | 58,469 千円   |                                 |                               |                               |                               |
| 株主総会       | 監査報告                      | 監査役が監査を実施した結果、適正と認める。   |                                 |                               |                               |                               |
|            | 議 案                       | <p>令和5年6月15日に第35回定時株主総会が開催され、以下の議案が異議なく可決された。</p> <p>第1号議案 第35期貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表承認の件</p> <p>第2号議案 取締役8名選任の件</p> |                                 |                               |                               |                               |

## 事業報告

(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

### 1. 株式会社の現況に関する事項

#### 1. 事業の経過及びその成果

今期は、コロナ禍の中ではありましたが、前年以上に活発な球場利用がありました。県・市のガイドラインを遵守し、NPBをはじめ各利用団体の自主ガイドラインに則り、感染症対策に注力しながら、無事安全に各大会が開催されました。

北九州市民球場の利用実績として、高校野球101試合、大学野球13試合、社会人野球25試合、少年野球16試合、軟式野球14試合の他、企業野球部等の利用も数試合行われました。三萩野球場においては、345件のご利用がありました。

プロ野球は、福岡ソフトバンクホークス主催ゲームが今期も予定通り2試合行われました。入場者数の制限が解除され、4月16日の「ファイト九州」楽天戦は18,709人、7月20日の「鷹の祭典」楽天戦は16,725人と、多数ご来場いただいております。

また、今期発足した独立リーグのプロ野球チーム福岡北九州フェニックス（現 北九州下関フェニックス）の試合も5試合行われています。

さらに、日本女子ソフトボールのトップリーグ「JDリーグ」がスタートし、5月と10月に計10試合が開催されました。

その他、自主事業として、福岡ソフトバンクホークスのご協力により、従来から行っていた野球教室「ホークス野球塾」や「ベースボールキッズ」に加え、11月に中学生を対象とした「第2回北九州ベースボールクリニック」を開催し、北九州市内の中学校6校から約100名のご参加をいただきました。今年度以降も継続実施し、北九州の野球の振興、技術の向上に貢献し、健全な青少年育成の一助となれればと考えております。

今期実施した主な改修工事は、屋外トイレブースの改修、3塁側旧ブルペン屋根の改修、3階記者席外壁塗装、1・3塁ベンチ内ゴムマットの張替、1塁ベンチ鉄骨脚の補強、シャワー室給湯器取替等を実施いたしました。今後も引き続き、安全性、快適性の向上に努めて参ります。

球場広告については、地元企業をはじめとする従来からのスポンサーに加え、新規スポンサーの獲得を目指し、継続して営業活動を行っております。

以上の結果、当期の売上高は131,914,575円となり、営業利益は8,134,609円、当期純利益は5,957,931円となりました。

令和5年北九州市民球場で開催のプロ野球は、4月25日福岡ソフトバンクホークス対東北楽天ゴールデンイーグルス戦（雨天中止）の他7月12日福岡ソフトバンクホークス対埼玉西武ライオンズ戦が予定されており、7月の公式戦は「北九州鷹の祭典」として開催予定です。北九州の多くのファンが北九州市民球場に足を運び、熱いゲームを観戦いただけるものと確信しております。また北九州下関フェニックスの試合が12試合、日本女子ソフトボール「JDリーグ」の試合が12試合開催される予定です。その他、高校、大学、社会人野球等においても、例年以上の利用が予定されております。

## 2. 直前三事業年度の財産及び損益の状況

(財産及び損益の状況)

| 区 分           | 第32期      | 第33期※     | 第34期      | 第35期<br>(当事業年度) |
|---------------|-----------|-----------|-----------|-----------------|
| 売上高(千円)       | 93,059    | 40,293    | 115,652   | 131,914         |
| 当期純利益(千円)     | 8,881     | 2,288     | 4,503     | 5,958           |
| 1株当たり当期純利益(円) | 8,880円67銭 | 2,287円93銭 | 4,502円81銭 | 5,957円93銭       |
| 総資産(千円)       | 117,150   | 118,409   | 133,995   | 149,255         |
| 純資産(千円)       | 95,721    | 98,008    | 102,511   | 108,469         |

(注) 1. ※第33期については、事業年度変更により5か月間となっております。

2. 上記記載金額の表示単位未満は、四捨五入表示をしております。

## 3. 対処すべき課題

安全・安心の球場運営を実施して参ります。

- ・老朽化していく施設を市民の安全・安心を守るという観点で、北九州市当局と協同して、施設の維持と改善を図っていきます。
- ・北九州市民の皆様に、喜んでいただける、オペレーションに努めます。

## 4. 主要な事業内容

- ①プロ野球公式戦等の興行
- ②北九州市民球場内の広告、宣伝に関する業務
- ③北九州市民球場内の食料品等の販売に関する業務
- ④北九州市民球場等の指定管理業務

5. 使用人の状況

使用人数 3名 (前事業年度末比 1名増)  
 平均年齢 40歳 平均勤続年数 9年

2. 株式に関する事項

- ① 発行可能株式総数 4,000株
- ② 発行済株式の総数 1,000株
- ③ 当事業年度末の株主数 46名

④ 主要な株主の状況

| 株主名          | 持株数 | 保有割合 |
|--------------|-----|------|
| 北九州市         | 40株 | 4%   |
| 第一交通産業株式会社   | 40株 | 4%   |
| 株式会社ゼンリン     | 40株 | 4%   |
| 株式会社西日本シティ銀行 | 40株 | 4%   |

3. 会社役員に関する事項

| 地位      | 氏名     | 重要な兼職の状況           |
|---------|--------|--------------------|
| 代表取締役社長 | 田中 亮一郎 | 第一交通産業(株)代表取締役社長   |
| 取締役     | 羽田野 隆士 | 北九州商工会議所専務理事       |
| 取締役     | 安積 研二  | 福岡ソフトバンクホークス(株)顧問  |
| 取締役     | 森田 隼人  | シャボン玉石けん(株)代表取締役社長 |
| 取締役     | 加治 敬通  | (株)ハローディ代表取締役社長    |
| 取締役     | 鶴岡 直樹  | (株)ゼンリン参与          |
| 取締役     | 中谷 正紀  | 第一交通産業(株)顧問        |
| 取締役     | 松本 裕美  | 北九州野球(株)管理部長       |
| 監査役     | 竹尾 祐幸  | (株)西日本シティ銀行取締役副頭取  |
| 監査役     | 重見 亘彦  | 辻・重見税理士法人 代表社員     |

## 計 算 書 類

### 貸 借 対 照 表

(令和5年3月31日現在)

(単位：円)

| 科 目      | 金 額         | 科 目             | 金 額         |
|----------|-------------|-----------------|-------------|
| (資産の部)   |             | (負債の部)          |             |
| 流動資産     | 141,111,041 | 流動負債            | 37,736,047  |
| 現金及び預金   | 124,439,161 | 未払費用            | 13,487,101  |
| 未収入金     | 6,113,303   | 前受金             | 19,745,010  |
| 前払費用     | 10,530,300  | 預り金             | 678,236     |
| 立替金      | 64,277      | 仮受金             | 835,500     |
| 貸倒引当金    | △ 36,000    | 未払法人税等          | 1,400,400   |
| 固定資産     | 8,144,214   | 未払消費税等          | 1,589,800   |
| 有形固定資産   | 6,053,406   | 固定負債            | 3,050,000   |
| 建物       | 2,456,729   | 役員退職給付引当金       | 3,050,000   |
| 建物附属設備   | 34,967      | 負 債 合 計         | 40,786,047  |
| 構築物      | 1,685,531   | (純資産の部)         |             |
| 機械装置     | 1,844,695   | 株主資本            | 108,469,208 |
| 車両運搬具    | 1           | 資本金             | 50,000,000  |
| 工具器具備品   | 31,483      | 利益剰余金           | 58,469,208  |
| 無形固定資産   | 291,200     | その他利益剰余金        | 58,469,208  |
| 電話加入権    | 291,200     | 繰越利益剰余金         | 58,469,208  |
| 投資その他の資産 | 1,799,608   | 純 資 産 合 計       | 108,469,208 |
| 長期前払費用   | 1,799,608   | 負 債 ・ 純 資 産 合 計 | 149,255,255 |
| 資 産 合 計  | 149,255,255 |                 |             |

## 損益計算書

(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

(単位：円)

| 科 目          | 金 額       |             |
|--------------|-----------|-------------|
| 売上高          |           | 131,914,575 |
| 広告売上         |           | 27,200,000  |
| レストラン売上      |           | 3,326,456   |
| チケット収入       |           | 19,017,673  |
| 興行収入         |           | 5,466,810   |
| 球場管理収入       |           | 76,903,636  |
| 売上総利益        |           | 131,914,575 |
| 販売費及び一般管理費   |           | 123,779,966 |
| 営業利益         |           | 8,134,609   |
| 営業外収益        |           |             |
| 受取利息         | 2,387     |             |
| 貸倒引当金戻入額     | 36,000    |             |
| 雑収入          | 17,189    | 55,576      |
| 経常利益         |           | 8,190,185   |
| 税引前当期純利益     |           | 8,190,185   |
| 法人税・住民税及び事業税 | 2,232,254 | 2,232,254   |
| 当期純利益        |           | 5,957,931   |

## 株主資本変動計算書

(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

(単位：円)

|         | 株主資本       |                     |              | 株主資本<br>合 計 | 純 資 産<br>合 計 |
|---------|------------|---------------------|--------------|-------------|--------------|
|         | 資本金        | 利益剰余金               |              |             |              |
|         |            | その他利益剰余金<br>繰越利益剰余金 | 利益剰余金<br>合 計 |             |              |
| 前期末残高   | 50,000,000 | 52,511,277          | 52,511,277   | 102,511,277 | 102,511,277  |
| 当期変動額   |            |                     |              |             |              |
| 当期純利益   |            | 5,957,931           | 5,957,931    | 5,957,931   | 5,957,931    |
| 当期変動額合計 |            | 5,957,931           | 5,957,931    | 5,957,931   | 5,957,931    |
| 当期末残高   | 50,000,000 | 58,469,208          | 58,469,208   | 108,469,208 | 108,469,208  |



## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### (1) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産 定率法を採用しています。

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く）及び平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備並びに構築物については、定額法を採用しています。

#### (2) 引当金の計上基準

- ① 貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について法人税法の規定に基づく法定繰入率により、回収不能見込額を計上しております。
- ② 役員退職給付引当金 役員の退職給付に備えるため、役員が退職した場合に必要となる退職金を計上しています。

#### (3) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項 消費税等の会計処理は、税抜方式を採用しています。

### 2. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末における発行済株式の数 1,000株

## 監 査 報 告 書

令和4年4月1日から令和5年3月31日までの第35期事業年度に係る計算書類及びその附属明細書に関して、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

なお、当会社の監査役は、定款に定めるところにより、監査役の範囲が会計に関するものに限定されているため、事業報告を監査する権限を有しておりません。

### 1. 監査の方法及びその内容

私たちは、取締役等から会計に関する職務の執行状況を聴取し、会計に関する重要な決裁書類等を閲覧いたしました。また、会計帳簿及びこれに関する資料を調査し、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

### 2. 監査の結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和5年6月1日

北九州野球株式会社

監査役 竹尾 祐 幸 (印)

監査役 重見 亘 彦 (印)

## 株主総会参考書類

### 議案および参考事項

第1号議案 第35期（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表承認の件

議案内容は、5頁から8頁に記載のとおりであります。

第2号議案 取締役8名選任の件

本総会終結の時をもって取締役8名が任期満了となりますので、取締役8名の選任をお願いするものであります。

その候補者は次のとおりであります。

| 氏名     | 重要な兼職の状況           | 所有する当社の株式数 |
|--------|--------------------|------------|
| 田中 亮一郎 | 第一交通産業(株)代表取締役社長   | 0株         |
| 羽田野 隆士 | 北九州商工会議所専務理事       | 0株         |
| 安積 研二  | 福岡ソフトバンクホークス(株)顧問  | 0株         |
| 森田 隼人  | シャボン玉石けん(株)代表取締役社長 | 0株         |
| 加治 敬通  | (株)ハローデイ代表取締役社長    | 0株         |
| 鶴岡 直樹  | (株)ゼンリン参与          | 0株         |
| 中谷 正紀  | 第一交通産業(株)顧問        | 0株         |
| 松本 裕美  | 北九州野球(株)管理部長       | 0株         |

(注) 各候補者と当社間に特別の利害関係はありません。